

ゆうこう便り

発行:北口雄幸事務所
士別市東7条9丁目
Tel0165-22-3100
fax0165-23-4356

ふるさと
農林業で郷土再生

農政副委員長として、決意新たに！

謹賀新年



明けま

しておめ

でございます。輝かしい新年をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。

昨年3月11日に発生した東日本大震災では、かつて私たちが経験したことのない巨大地震や津波、原発事故、さらには風評被害などで多くの皆様が犠牲となり、



今まで以上に安全・安心なまちづくりと、原発に依存しない社会の確立が求められています。

一方、北海道経済は、依然として厳しい環境を抜け出すことができず、米についてはますますの出来秋だったものの、畑作については農家の皆さんの努力が報われない結果となりました。そのような中、野田総理が「TPP交渉参加に向けて関係国と協議に入る」ことを表明したことは、オール北海道として反対行動を行ってきた立場として、極めて残念と言わざるを得ませ

ん。しかし、これは事前協議の開始であり、TPP交渉には断固参加させない運動を強化していかなければなりません。

北海道は、農林水産業が基幹産業の地域です。第一次産業の元気が地域の元気を取り戻すことになると信じ、農政委員会副委員長、超党派の農政議連・林活議連の役員として、これからも頑張る決意です。

北海道議会議員 北口雄幸

農政委員会
中央要請実施

12月20日21日の日程で、今年最後の中央要請行動を行ってきました。

今回は、一・食料供給力の確保・向上に必要な農業生産基盤の整備の促進に関する提案、二・鳥獣被害防止対策の充実・強化に関する提案、三・BSE関連対策に対する提案などを、道選出国会議員や農水省に対し、道議会や北海道、市長会、町村会、農協中央会、



道農連、土地連の皆さんとともに要請してきました。

この提案に対し、生産基盤の整備については、第4次補正予算で801億円を計上し、鳥獣被害対策の中でとりわけエゾシカ対策については佐々木隆博代議士から「今年度末までには一定の方針性を示したい」との考えが示されました。

一方、BSEの検査が30ヶ月齢以上に引き上げられる問題については、食の安全・安心に直結するだけに、「慎重に対応し、国民に対する説明をしっかりと行って欲しい」とのお話しをさせていただいてきました。

第四回定例道議会報告(11月25日、12月9日)

今定例会では、会期の短い4定でありながら、開会直前の11月23日に、北電泊原発3号機でのプルサーマル計画検討時の北電の「やらせ」行為に、道幹部職員が関与したとされることについて道が設置していた第三者検証委員会の報告が行われ、定例会開会日の25日午後になって、道民や職員にさらなる痛みや負担の継続を求め、「道行財政改革の取組み」の見直し方向性が示されました。さらに、

知事同意判断に疑問

北電、国、道が関与したことが明らかになったプルサーマル計画に関する「やらせ」について、知事は、道の第三者検証委員会が、「当時の担当課長個人の不適切な対応であり、当時の知事

の同意判断に影響を与えたものでない」との報告を行ったことに全面的に依拠する答弁を繰り返し、これを根拠に担当課長を嚴重注意その監督責任として知事自身を減給10%1ヶ月とする処分を行いました。

不十分なやらせ説明

私は、会派を代表し、こうした行為の上で行われた、プルサーマル計画への知事の同意判断は撤回し論議をやり直すことを求め、今回の処分でこの問題の「幕引き」を図るようなことがあつてはならないとして質疑を行ってきました。

今後のエネルギー施策を検討していくためにも、事業者である北電、さらに関与が明らかになった道、国を含めて信頼を回復するための真相究明が必要であり、今後とも議論を重ねていきます。

178億円を補正

補正予算案は、開会初日と

平成23年第4回定例会で議決された補正予算(単位:千円)

| 項目 | 一般会計 | 特別会計 | 合計 |
|-------|---------------|-------------|---------------|
| 現計予算 | 2,821,405,054 | 585,024,578 | 3,406,429,632 |
| 4定補正額 | 17,389,594 | 455,622 | 17,845,216 |
| 通常補正 | 3,994,260 | 381,528 | 4,375,788 |
| 追加補正 | 13,395,334 | 74,094 | 13,469,428 |
| 合計 | 2,838,794,648 | 585,480,200 | 3,424,274,848 |

会期最終日の2回に分けて提案されました。冒頭提案分は、災害復旧事業費13億円、端境期対策の投資単独事業費(ゼロ道債)60億円(うち23年度分21億円、債務負担行為39億円)、給与改定等に伴う給与費の減額12億4千億円などであり、最終日提案分は、国の第3次補正予算に伴い、防災対策等のための公共事業費80億

円、緊急雇用創出基金の増枠52億円などです。この補正によって、23年度の道予算規模は一般会計2兆8千388億円、特別会計5千854億円の合計3兆4千242億円となりました。

決特で庁舎問題指摘

また、11月10日の決算特別委員会では、胆振総合振興局が入居している複合施設が、道の耐震基準を下回っていることを指摘しました。

採択された決議・意見書

原子力発電所の安全対策に関する意見書 再生可能エネルギー等の導入促進を求める意見書 子ども・子育て新システムによる保育制度改革に関する意見書 私立専修学校に関する新学校種の創出と財源措置に関する意見書 鳥獣被害防止対策の充実・強化に関する意見書 国立大雪青少年交流の家及び国立日高青少年自然の家の存続を求める意見書

写真で振り返る北口道議の活動記録(10月、12月)



富良野市功労・貢献表彰(11月3日)



北海道障害者スポーツ大会 in 富良野(10月2日)



旭川十勝道路整備促進期成会から要請(11月24日)



旭川駅舎完成記念式典(11月23日)



私学助成について要請を受ける(12月2日)



TPP 反対全国集会に参加(11月26日)



朝日水力発電所建設を要請(12月5日)



甜菜振興自治体連絡協議会から要請(12月5日)



富良野市労連退職者会総会(12月11日)



さっぽろ市土別ふるさと(11月5日)

北口ゆうこう奮闘日記

http://y-kitaguchinet/

北口道議の奮闘ぶりをブログから抜粋して紹介します。(10月~12月分)

10月15日【農業農村フェスタin赤レンガ】

農業農村フェスタin赤レンガに参加してきた。このイベントは、農業・農村の素晴らしさや楽しさを実感しようと企画され、NPO法人「農・と・ぴあ」やボランティア「ふれあい農村」などが主催し、道土地連が後援し、ホクレンなどが協賛団体に名を連ねている。イベント

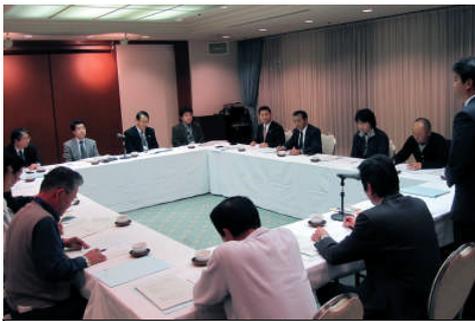


富良野土地改良区の皆さんと記念撮影

内容としては、お米の脱穀や精米体験、懐かしい「とうみ」体験なども行われ、各ブースでは地域特産品の販売や地元食材の食べ物なども提供され、多くの皆さんが参加し、農業や農村をPRしたところだ。

11月14日【和寒農連研修会】

和寒町農民連盟は、農作業がほぼ終わったこの時期に執行委員研修会を開催しており、私も参加させ



研修会でご挨拶する中原浩一委員長

ていただいた。冒頭、中原委員長は、「今年の作柄は3年連続厳しいものだった。特に、和寒町の戦略作物の野菜が悪かった。しかし、戸別所得補償制度で農家は助かったのではないか。一

方、TPP交渉参加問題では、極めて残念な結果であり、今後粘り強い闘いを進めていかなければならない」とご挨拶された。その後の意見交換では、新規就農、6次産業化、農業法人化に向けた取り組み、などについて議論してきた。

11月21日【防災協定同席】

士別市と友好都市を提携している愛知県みよし市との災害時における相互応援に関する協定の締結式に同席してきた。3月11日の東日本大震災以降、安全・安心なまちづくりに対する関心が高まり、その取り組みが進められている。一方、災害時における初動応援や



防災協定を交わす牧野市長と久野市長

物資の提供などの必要性も求められており、今回士別市とみよし市が災害協定を締結することとなったのだ。みよし市は、平成22年1月4日に市政施行し、災害に強いまちづくりを進め、

公共施設の耐震化や家庭での家具転落防止への支援なども行っている。今回の協定では、災害時における物資や人的支援をはじめとする協定を結び、被災者支援や一日でも早い復旧復興のための協定を結んだ。また、

士別市からは、住民データや税情報などの行政情報のバックアップをみよし市にお願いし、災害に強いまちづくりをこれからも進めるとした。

12月2日【と畜検査料据え置き要請】

農政委員会として、畜産関係手数料(と畜検査等手数料及び家畜衛生手数料)についての据え置きを要請された(中略) 今日、要請は、農協中央会、和牛振興協議会、肉用牛生産者協議会、めん羊協



と畜検査料の据え置き要請を受ける

議会の皆さんから、この要請を受け、畜産振興の上からも手数料のあり方について議論していきたい。

【ひとりごと】

「今回の処分は知事として一つの区切りであったとしても、すべての区切りではない。」知事給与を減額する条例改正案の質疑で、民主党・道民連合の北口雄幸氏はまくしたてた。これは、議会が開会した12月10日の新聞に掲載された内容だ。プルサーマル計画をめぐる「やらせ」問題では、道幹部職員の不適切な発言で、賛成意見が急増している。これで、プルサーマル同意に影響がないとの判断に、私は甚だ疑問が残る。今回の処分が幕引きにはさせない。これから、議会としての本気度が試されるのではないか。(ゆうこう)